

「平成30年度第1回天王寺区地域福祉ビジョン検討部会」でいただいたご意見等への回答・対応状況について

■天王寺区地域福祉ビジョン検討部会とは

・天王寺区地域福祉ビジョン策定に関する事項について、専門的な意見交換を行うことにより、効果的な区政会議の議論に資するため、地域福祉ビジョン検討部会を設けることにしました。

■第1回地域福祉ビジョン検討部会を開催しました。

・平成30年10月25日（木）午後7時から、区役所講堂におきまして、第1回地域福祉ビジョン検討部会を開催し、委員の皆さんから、「天王寺区地域福祉ビジョン（素案）」について、次のようなご意見等をいただきました。

番号	いただいたご意見・ご質問等	回答・対応状況
1	<p>【高齢者施設の充実(質問)】 高齢者施設への入所状況について、天王寺区では有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の入所者が多いとのことだが、(特養など)年金で入れる施設が不足しているからではないのか。施設の充実について、どのようにしていくのか。(上戸委員)</p>	<p>特別養護老人ホーム(以下「特養」という)への入所希望者は多いですが、特養には一定の基準(要介護度3以上等)があるので希望者すべての人が入所できません。多様な施設やサービス等でカバーしていく必要があります。大阪市では、「高齢者保健福祉計画・介護保険福祉計画」に基づき、市内全域での整備目標を定め、整備を図っております。特養の整備にあたっては、区ごとの施設の偏在が過大とならないよう、天王寺区など施設の少ない区に整備することを優先した事業者の公募も行っています。(区)</p>
2	<p>【人生100年時代の生き方・高齢者認知症問題(意見)】 人生100年時代と言われている。60歳定年でその後40年どう生きるか。認知症にならないために個人個人、いろいろな取り組みが必要である。例えば、高齢者大学、趣味、旅行、グラウンドゴルフ、カラオケ等。(高木委員)</p>	<p>前向きな活動が一番大事だと思います。医療においても疾病を治すということよりも予防など前向きに考えることが主体となっていきます。(松下議長)</p>
3	<p>【地域福祉アクションプランの検証について(質問)】 地域福祉アクションプランを経て地域福祉計画になるもので、地域福祉アクションプランの検証を教えてください。 また、数字だけでなく、地域で体験した人や担っている人に対してヒアリングをしているのか教えてください。(三宅委員)</p>	<p>地域福祉アクションプランは、毎年度、推進委員会において計画の検証を行いながら実施しています。検証を行う際、各種取り組みのふりかえりを行っており、地域福祉の担い手である推進委員の意見等も計画に反映しています。また、3年ごとの計画となっており、平成30年度から第5期の計画に基づき、各種取り組みを進めています。(区)</p>
4	<p>【資料の数字だけでなく実際との差について(意見)】 資料の数字では実際読めないところがあり、乖離がある。計画を進めて行くにはその部分をはっきりさせる必要がある。(片岡委員)</p> <p>【地域福祉ビジョンにおける具体的な数値目標について(意見)】 取り組みの方向性はあるが、具体的な取り組みがない部分もある。ビジョンではそれでいいが、計画となれば数値目標を示していただきたい。(片岡委員)</p>	<p>天王寺区地域福祉ビジョンの作成にあたって、天王寺区における基礎的な行政データを基にしている部分もありますが、区民の意見やニーズを把握するため、区民モニターによるアンケートや「あなたの声をつなげ隊」によるアンケートを実施しています。アンケートの意見については各種事業の評価・検証を行い、区運営方針等にも反映させており、同様に地域福祉ビジョンにおける各種取り組みにも反映させています。今回の地域福祉ビジョンについては、天王寺区における地域福祉の将来像を示すものです。地域福祉ビジョンの中には具体的な数値目標を定めるのが難しい取り組みもありますので、今後、区運営方針を活用するなどして計画の検証していく必要があると考えています。(区)</p>

番号	いただいたご意見・ご質問等
5	<p>【天王寺区独自の取り組みについて(質問)】 区独自の取り組みをあるのか教えてほしい。あれば、地域福祉ビジョンに加味してほしい。(山本委員)</p> <p>【見守りサポーターと見守り相談室について】 見守りサポーター、見守り相談室の役割は何か。その取り組みは、どのような課題を未然に防いでいるのか。子育て世代の貧困家庭等は、見守り対象に含まれないのか。(山本委員)</p> <p>【独居高齢者等見守りサポーターの自己申告制について(意見)】 独居高齢者等見守りサポーター事業は自己申告制になっているが、自ら声をあげられない人に、どのように手を差し伸べるか、工夫が必要だと思う。(上戸委員)</p>
6	<p>【ひとり親家庭等への支援(質問)】 ひとり親家庭への支援、困っていても相談できず虐待してしまうとか聞いたりするので支援について教えてほしい。(江畑委員)</p>
7	<p>【病児保育について(意見)】 天王寺区内で病児保育施設をつくってほしい。(中谷委員)</p>
8	<p>【ボランティアの担い手(意見)】 いつもボランティアのやりがいを感じているが、担い手の顔ぶれは変わらない。自分自身も、高齢になって施設に入るのではなく、なるべく地域で見守ってほしいと思っている。若い担い手を巻き込んでいく必要があると思う。(江畑委員)</p>
9	<p>【地域活動(働きかけ、つながりづくり)の重要性(意見)】 ひとり親家庭等の支援については、見えてこない課題が多いと思う。何か気になることがあれば教えてほしいといろいろな場面で言い続けることを心掛けている。やはり、区役所からの啓発や周知だけではなく、各地域で活動している者が直接、働きかけ、つながりをつくるのが重要である。高齢者の課題については、区社会福祉協議会や地域包括支援センターにつなぐと迅速に動いてくれている。(田中委員)</p>
10	<p>【天王寺のまちづくりについて(意見)】 (ビジョン案は)すばらしい内容でまとまっている。今日みなさんの話を聞いて、天王寺区を住みよいまちにしたい思いが強まった。若い世代もどンドン天王寺区に入ってきてほしい。(三浦副議長)</p>

回答・対応状況
<p>天王寺区では、高齢者の見守り支援事業として、独居高齢者等見守りサポーター事業と地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業を実施しています。独居高齢者等見守りサポーター事業は、天王寺独自の取り組みであり、地域のボランティアが、見守りサポーターとして、高齢者の孤立等を防ぐため、見守り活動を行っています。見守り相談室では、これらの事業を受託しており、地域で孤立し、支援が必要な方に対しては、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)による専門相談や訪問も行っています。子育て世代は、本事業の対象となっていませんが、3ヶ月健診などで状況を把握しています。また、子育て支援室では、家庭児童相談員や虐待担当などが保健師と連携して対応をしています。(区)</p> <p>ジュニアクラブは天王寺区独自の取り組みであり、天王寺区のこれからの担い手、社会を担っていく子どもたちを育てるための取り組みを行っています。見守りが必要な子どもについては、主任児童委員が学校とも連携して支援していますし、未就学児については、3ヶ月健診などでは相談されたりして対応していると聞いています。(中谷委員)</p>
<p>ひとり親家庭には、子育て支援室やひとり親サポーター等が相談や支援を行い、適切な関係機関につないでいます。各種ひとり親を支援する事業等の周知・啓発を行っています。地域では子育て支援サークル等と連携した支援も行っています。(区)</p>
<p>大阪市で「こども・子育て支援計画」に基づき、整備が行われており、計画上はすでに確保されているが、必要性は高いと認識している。(区)</p>
<p style="text-align: center;">/</p>
<p style="text-align: center;">/</p>
<p style="text-align: center;">/</p>